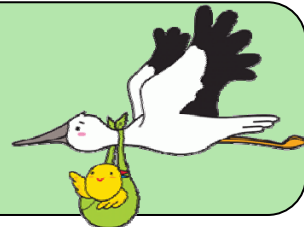


# ひょうご 子ども未来通信9月号

[http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08\\_00000008.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/hw08/hw08_00000008.html)



## 認定こども園シンポジウムに500人が参加

県と全国認定こども園協会の共催によるシンポジウムが県公館で開催され、県内外より500名を超える認定こども園、幼稚園・保育所関係者が参加しました。



藤原内閣府参事官による制度の概要説明、汐見稔幸白梅学園大学学長・東大名誉教授による基調講演に加え、パネルディスカッションでは認定こども園の果たすべき役割や今後の幼保一体化について活発な議論が行われました。

井戸知事は「子どもを『保育に欠ける・欠けない』で分けず、幼児教育と保育を一体的に提供

(問) 県児童課 078-362-3215

することが必要。それができる認定こども園に期待している」と挨拶、会場からは多くの賛同の声が上がっていました。



### 認定こども園とは…

保育所機能と幼稚園機能、地域の子育て支援の機能を併せ持つ施設で、都市部における待機児童対策や、郡部における子どもの育ちに必要な集団の場づくりが期待されています。現在、全国に531園、県内では31園(全国第4位)設置されています。

また、国で検討中の新たな次世代育成支援の仕組みである「子ども・子育て新システム」には、幼稚園・保育所・認定こども園の垣根を取り払い、幼児教育と保育を一体的に提供する「こども園(仮称)」の創設が盛り込まれています。

## ファミリーサポートセンター研修会を開催 ～県内27市町26センターの取組を充実～

県内27市町では、会員相互の助け合いにより、子どもの一時的預かりを行う「ファミリーサポートセンター事業」を実施しており、8月2日、センターのアドバイザー等を対象とした研修会が開催されました。

研修会では、運営上の課題等について情報交換を行ったほか、病児・病後児預かりの推進に向け、県看護協会大森会長から「子どもの病気とその対応」と題して講演が行われました。

22年3月末現在、県内の会員数は23,774人、昨年度の年間活動件数は66,650件と多くの方に利用されています。会員登録を希望される方は、右記の各センターまでお問い合わせください。(問) 県少子対策課 078-362-4183

ファミリーサポートセンターでの主な活動内容

- ◇保育所までの送迎
- ◇保育所の開始前や終了後の預かり
- ◇学童保育後や学校の放課後の預かり
- ◇保護者の病気や急用の場合の預かり
- ◇冠婚葬祭やきょうだいの子どもの学校行事の際の預かり
- ◇保護者の短時間、臨時的な仕事の際の預かり など



### 県内のファミリーサポートセンター

市 町	電 話
神戸市	078-271-5545
尼崎市	06-6489-3067
西宮市	0798-39-1534
芦屋市	0797-25-0521
伊丹市	072-772-4560
宝塚市	0797-85-4535
川西市・猪名川町	072-740-6800
三田市	079-559-8996
明石市	078-915-1277
加古川市	079-424-9933
高砂市	079-442-0555
稲美町	079-492-9090
播磨町	078-944-0717
三木市	0794-82-2395
小野市	0794-63-3611
加西市	0790-42-0111
加東市	0795-43-0444
姫路市	079-223-5638
神河町	0790-34-0962
相生市	0791-23-0155
たつの市	0791-63-5106
赤穂市	0791-42-4011
宍粟市	0790-72-2100
佐用町	0790-82-0341
篠山市	079-590-1388
丹波市	0795-70-2244

## 絵本作家の黒井健さんが講演

県では、絵本の読み聞かせ活動を推進し、子どもたちの夢と想像力を育もうと「ひょうご絵本プロジェクト」を展開しています。その一環として、8月7日、兵庫県公館で全県フォーラムが開かれ、子育て支援者など約300人が参加しました。

絵本作家の黒井健さんが「絵本がつなぐ心と心」と題し、絵本作家になった経緯や「ごんぎつね」「猫の事務所」等の作品づくりにまつわるエピソードについて講演したほか、黒井健さんと絵本作家の永田萌さんが対談を行い、絵本の魅力について語り合いました。



(問) 県少子対策課 078-362-4185

## 県内高校生55人が県庁で就業体験

高校生が県庁の職務を体験し、将来の職業や進路などについて考える、「県庁インターンシップ」(8月23日～27日)が実施され、県立高校生55名が参加しました。

大西孝教育長からは、「このような経験は日頃できないこと。“気づき”を大切に5日間楽しんでほしい」とエールがありました。

播磨南高校2年生の長谷川瞳さんは少子対策課に配属され、電話対応や関係事業のデータ取りまとめなどを行い、「普段できないすばらしい体験ができた。これから将来についてしっかり考えていきたい」と感想を話していました。



播磨南高校2年の長谷川瞳さん(左)

(問) 県高校教育課 078-362-9444

## 子育てほっとステーション活動報告会

商店街の空き店舗等を活用し、親子がくつろげるたまり場などの整備を県が支援する「子育てほっとステーション設置事業」の活動報告会が8月23日に開催されました。

清原兵庫県理事兼少子対策本部事務局長から「少子対策は最重要課題。親子だけでなく様々な人々が集う子育て支援拠点となるよう頑張してほしい」とあいさつがあり、その後、昨年度補助を受けた12の団体から、活動状況の報告がありました。

姫路市網干一番街商店街の谷口道和さんからは、築308年の古民家を整備し、そこで様々な体験活動や集団学習などを実施している事例が報告され、「親子が集う地域の子育ての拠点として今



後も活動を充実させていきたい」と力強く話されていました。

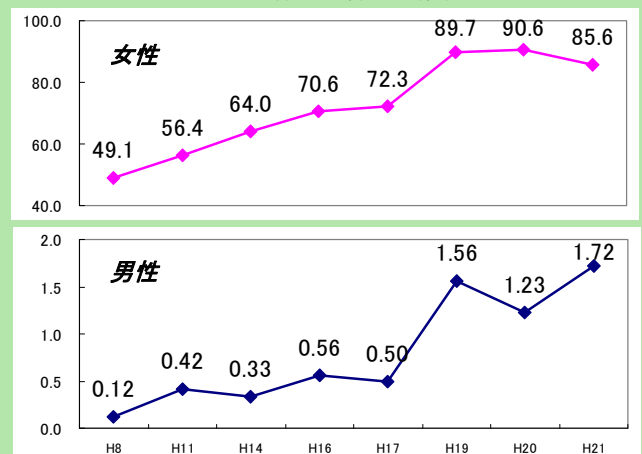
(問) 県少子対策課 078-362-4185

## 男性育児休業取得率が過去最高に

厚生労働省が7月16日に発表した資料によると、平成21年度の育児休業取得率は、女性85.6%、男性1.72%で、昨年度に比べ女性は5.0ポイント低下する一方、男性は0.49ポイント上昇し、過去最高となりました。

女性の取得率の低下は平成8年度以降初めてで、同省では「経済悪化による所得減を懸念し、小規模事業所などで育休を取らない女性が増えた可能性がある」と分析しています。また、過去最高となった男性の取得率については「国の掲げる目標値とは未だ大きな開きがあり、さらなる推進が必要」としています。

育児休業取得率の推移



## 「SOS キャッチの徹底」を緊急呼びかけ

大阪市内で起こった幼児2人の虐待遺棄事件などを受けて、兵庫県地域女性団体ネットワーク会議「子育て応援ネット」(18団体)では、子どもの安全を守るための地域の取り組みを一層進めるため、会員に対して下記のとおり緊急呼びかけを行っています。

『子どもは地域の宝です。地域ぐるみで守りましょう。』

### 1 子育て家庭のSOSを見逃さずキャッチしよう

子育て家庭が発する気になるSOSをキャッチしたら、匿名で結構ですので、すぐに市町児童家庭相談窓口やこども家庭センターなどの専門機関に連絡しましょう。



<児童虐待防止24時間ホットライン>

- 中央こども家庭センター 078(921)9119
- 西宮こども家庭センター 0798(74)9119
- 川西こども家庭センター 072(759)7799
- 姫路こども家庭センター 079(294)9119
- 豊岡こども家庭センター 0796(22)9119
- 神戸市こども家庭センター 078(382)2525
- (神戸市夜間休日相談 078(382)1900)

### 2 日常的なあいさつ・声かけをしよう

子どもたちや出会った人へのあいさつを励行することで、子どもたちの様子を見守り、地域の連携を強め、また不審者に対する抑止力を高めましょう。

### 3 一人ひとりが子どもを守る意識を持とう

「地域の子どもは地域で守る」という意識を持って、子どもを守るために登下校時にあわせて散歩や買い物をするなど、一人ひとりができることから取り組みましょう。

(問) 県少子対策課 078-362-4185

## 52年ぶり新作の鬼太郎紙芝居にみんなにっこり

夏休み特別企画として、家族で紙芝居や絵本を楽しむ催しが、8月11日、県立男女共同参画センターで開催されました。



「ゲゲゲの女房」でもおなじみの水木しげる氏の52年ぶりの新作紙芝居「鬼太郎対カラス天狗」と、同氏の兵庫区水木通時代を描いた紙芝居の2本を関西初上演。太鼓を鳴らしての熱演に参加者約250名が歓声を上げていました。

(問) 県立男女共同参画センター078-360-8550

## 「ひょうご出会い支援事業ネットワーク」交流会を開催

出会い・結婚支援事業を行う市町等とひょうご出会いサポートセンターで構成する同ネットワーク(30団体が加盟)の交流会が開催され、各団体から特色ある事業が発表されました。

顧問の野々山久也甲南大学教授からは、「団体によって課題は様々だが、それらを広域的に互換することにネットワークの意義がある」とのコメントがありました。



ひょうご出会い支援事業とネットワーク加盟団体の事業により、現在、147組のカップルが成婚されています。

(問) ひょうご出会いサポートセンター 078-891-7415  
(兵庫県青少年本部内)

## 参加者募集

### まちの寺子屋師範塾 (9月に申し込める主な講座)

県内各地で子育て支援を行うボランティアの裾野を広げるため、大学でさまざまな子育て支援について学ぶ「まちの寺子屋師範塾」を開催します。(受講料：無料)

#### 甲南大学

##### 「子育て・家族支援者」養成講座

少子化社会日本の子育て、お父さんに望むこと、子ども虐待と子育て支援など

- ◆開催日: 10/9、10/16、10/23、10/30、11/6 (いずれも土曜日)
- ◆募集期間: 7/26(月)~9/24(金)
- ◆問合せ・申込: 078-435-2276
- ◆募集人員: 40名(先着順)

#### 関西学院大学

##### アニメと子ども

ジャパंकールとしてのアニメ、アニメと仲間コミュニケーション、アニメの教育効果...ジブリ作品を例として など

- ◆開催日: 10/9、10/16、10/23、10/30、11/6 (いずれも土曜日)
- ◆募集期間: 7/26(月)~9/24(金)
- ◆問合せ・申込: 0798-54-6890
- ◆募集人員: 30名(先着順)

#### 神戸女学院大学

##### 子どもの教育のいま

子どもたちと我が国の未来、子どもと英語教育、現代若者論、子どもと環境教育 など

- ◆開催日: 10/19(火)、10/20(水)、10/26(火)、10/27(水)、11/2(火)
- ◆募集期間: 9/1(水)~9/30(木)
- ◆問合せ・申込: 0798-51-8536
- ◆募集人員: 20名(先着順)

#### 神戸大学

##### ひろば(地域子育て支援拠点事業)における子育て支援を考える

ひろば運営のこれまでとこれから、ひろばにおける子育て相談、発達障害の相談と対応 など

- ◆開催日: 10/23(土)、10/24(日)
- ◆募集期間: 9/6(月)~10/8(金)
- ◆問合せ・申込: 078-803-7970
- ◆募集人員: 50名(先着順)

## 新婚・子育て世帯優先の県営住宅の入居者募集

県では、新婚・子育て世帯を対象に、県営住宅に優先入居枠を設定し、住宅確保を支援しています。

募集は毎月末行っていますので、入居を希望される方は下記までお問い合わせください。(以下は8月末分の募集)



◇募集期間：平成22年8月30日(月)～9月3日(金)  
◇募集戸数：新婚子育て世帯向け12戸(県営住宅全体では118戸募集)

◇募集要件：夫婦の合計年齢が70才未満で結婚2年以内または13歳未満の子どもがいる世帯(その他収入要件などあり)

(問)兵庫県住宅供給公社 078-232-9585

## 第4回たじま子どもまつりを開催します！

「みんなあつま～れ！～しおかせ香るまちへ～」をテーマに、楽しいステージイベントや親子体験イベントなどが開催されます。

◇日時：平成22年10月9日(土) 11:00～15:00

◇場所：香美町立香住文化会館

(美方郡香美町香住区香住 100-2)

◇内容：和太鼓演奏や伝統芸能などのステージイベント、親子体験コーナー、アトラクション、フリーマーケット等



昨年のステージイベント

(問) たじま「子育て」ネット(但馬県民局県民協働課) 0796-26-3647

## 地域団体・NPO・企業等の活動紹介

### NPO法人 ママの働き方応援隊がシンポジウムを開催(神戸市)

同団体(上野至大 理事長)は、女性が出産後も働き続け社会参加できる社会づくりを目的に今年設立されたNPO法人で、8月21日には「ママの働き方革命シンポジウム」を神戸市内で開催しました。



当日は、NPO法人フローレンスの駒崎弘樹代表による基調講演のほか、男性の長時間労働による女性の家事育児の負担、女性の仕事に対する意識改革などについて、株式会社ジェットクリエイティブ恵夕喜子代表取締役など多彩なパネリストが様々な角度から意見を交換しました。

(問) ママの働き方応援隊 078-862-1196

### 子育てサークル やんちゃんこが20周年に(尼崎市)

8月7日(土)、尼崎市内で、子育てサークル「やんちゃんこ」の20周年記念同窓会が開催されました。

「やんちゃんこ」は、平成3年、元小学校教諭の濱田英世さんら5人のお母さんが、「ノリのいい子を育てたい」そんな思いで、やんちゃん子を育てようと立ち上げた団体で、この日の同窓会は、現役会員の親子をはじめ、成人した「やんちゃんこ」卒業生ら約100名が参加。

スクリーンに大写真にされた懐かしい写真と、代表の濱田さんが語る数々の思い出話に、参加者全員が同時に思いを寄せ、楽しい語らいが続きました。また、白井尼崎市長や中西阪神南県民局長も駆けつけ、日頃

の子育て支援活動を讃える祝辞を述べました。

「やんちゃんこ」は、現在、サークル卒業生もスタッフとして参画、さらにその子どもたちも加わり、三世代で子育て支援に関わるなど、活動の輪が広がり、尼崎だけでなく阪神間の子育てを応援する人たちをリードする活動を続けています。

(問) やんちゃんこ 06-6421-8841



### 子育て支援グループ キララが子育て元気アップ活動助成を活用した事業を展開(三田市)

三田市主催の保育サポーター養成講座修了生の仲間が中心となり、平成13年に発足した子育て支援グループ「キララ」(松野玲子 代表)では、県の「子育て元気アップ活動助成」を活用し、子育て中の親等を対象に、プロのコーチによるエアロビクスを通じて心身ともにリフレッシュする「Enjoy エクササイズ」を実施しています。

エアロビクスでストレスを発散した後は参加者同士が気軽に会話を楽しむ時間も設けられており、交流の輪が広がっています。

参加者からは、「運動中もスタッフが子どもを見てくれるので安心」「同年代の“ママ友”だけではなく、地域・世代を超えたつながりができ、安心感を持って子育てができる」などの声があがっています。

(問) キララ 070-6502-4802



## ※編集部からのお知らせ

「ひょうご子ども未来通信」は、市町、企業、商工会議所・商工会、青年会議所、地域団体・NPO、県関係機関などや希望者に電子メールにより配信しています。新たに配信を希望される方は、下記アドレスに「ひょうご子ども未来通信・配信希望」とご送信ください。

兵庫県少子対策本部事務局(健康福祉部こども局少子対策課) : E-mail:shoshitaisaku@pref.hyogo.lg.jp